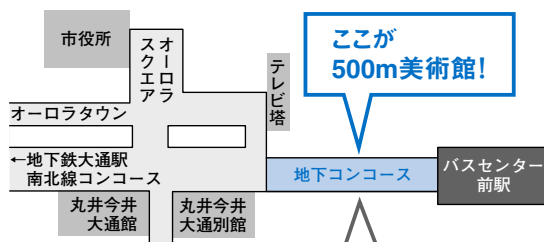


地下から さっぽろの

地下鉄大通駅
バスセンター前駅
地下空間

11/3(祝) 札幌大通地下ギャラリー 500m美術館が 生まれ変わってオープン

地下鉄大通駅とバスセンター前駅を結ぶ地下通路で、絵画や彫刻などを展示する「500m美術館」。毎年11月に開催されていましたが、このたび常設の施設として新たにオープンします。通路を歩きながら、芸術作品を気軽に楽しんでみませんか。



札幌で活躍する
作家たちの
作品が見られる!

オープンから半年間は、札幌の作家約50人の作品を展示。世界からも評価の高い作家たちの作品をぜひご覧ください。



「まなざし」
にしだ しょうじ
西田陽二 (画家) 作



「メリーゴーランド」
わたい じゅんけん
渡会純价 (画家) 作

ここに注目!

①日本最長の駅施設ギャラリー

絵画などの平面作品は幅19.2mまで展示可能。長い空間を生かした展示作品を見ることができます。

②立体作品も楽しめる ガラス張り展示ゾーン

ショーウィンドーのような展示ゾーンを新設。照明に照らされた立体作品を楽しむことができます。

③迫力の大画面で 鑑賞できる映像作品

大型モニター6面とプロジェクター2台を設置。デジタル技術を駆使した映像作品を体感できます。



通路という普段から誰もが行き来する空間で芸術作品を楽しめるのが、500m美術館です。一直線に長い空間を生かすため、展示ゾーンができるだけ途切れないよう工夫しました。多くの方に足を運んでもらい、作品から自由に何かを感じてもらえると嬉しいです。

500m美術館の設立に
携わった札幌芸術の
森美術館副館長

よしざき もとあき
吉崎 元章さん



アートがくれるチカラ

大通公園などでは安田侃野外彫刻展も開催されており、この秋の都心は、誰もが気軽に芸術を楽しめる場になります。芸術作品が持つ創造性は、新たな産業や文化を生み出し、札幌をもっと元気にするチカラを秘めています。そんなアートのチカラを体感しに、皆さんもぜひ足を運んでみてください。

市はユネスコ創造都市ネットワークへの 加盟を目指して取り組んでいます

創造都市ネットワークとは、ユネスコ(国連教育科学文化機関)が創設した国際交流を支援する枠組みです。ネットワークに加盟することで、札幌の知名度が高まるとともに、世界各都市との文化を通じた交流が盛んになります。市は、創造性にあふれる都市を目指して、アートステージをはじめとした芸術イベントの開催とともに、ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟に向けて取り組んでいます。